

# 表1

## 「子どもの心の問題」に関する受診理由

1. 発達の偏り（言葉の遅れ、社会性の遅れなど）
2. 学習の問題
3. 不登校・引きこもり
4. 行動の問題（多動、衝動、暴力、非行、性非行など）
5. 食行動の問題（拒食、過食など）
6. チック症状・汚言、その他の常同行為（吃音、爪噛みなど）
7. 睡眠の問題（夜驚、不眠、過眠など）
8. 排泄の問題（夜尿、遺尿、遺糞など）
9. 身体疾患ではない身体症状（歩けない、手が動かない、聴力・視力の低下、頻尿、意識障害など）
10. 身体疾患であるが、心の問題や環境が症状形成に大きく影響しているもの（気管支喘息、摂食障害、円形脱毛症など）
11. 場面による緘黙（学校で話さないなど）
12. 強迫行動（手洗いが止まらない、儀式的な行動など）
13. 分離不安（親からはなれることが出来ない）
14. 予期不安、回避（近い将来への過剰な不安、ある一定の場所に近づけない、特定の人を怖がるなど）
15. 不安定な対人関係、他人への過剰な甘え
16. 解離症状（自分が自分でない感じ、記憶がない、別の人格が出てくるなど）
17. うつ状態（悲しくて涙が止まらないなど）
18. 躁状態
19. 幼児および学童の性化行動
20. 自分の性への違和感（異性のような振る舞いなど）
21. 自傷行為
22. 自殺企図
23. 奇妙な言動、幻覚・妄想
24. 虐待を受けた体験
25. その他の恐怖体験（犯罪や事故の被害・目撃、災害、その他）
26. その他

どのような「心の問題」があるのか（診断名（ICD-10に準拠））

F90-98 小児期及び青年期に通常発症する行動および情緒の障害

F90 多動性障害

F91・92 行為障害（家庭内暴力・非行など）

F93 小児期に特異的に発症する情緒障害（分離不安障害、恐怖症性不安障害、社会性不安障害、同胞葛藤性障害など）

F94 小児期および青年期に特異的に発症する社会的機能の障害（選択性緘黙、愛着障害など）

F95 チック障害

F98 その他（非器質性遺尿症・遺糞症、異食症、常同性運動障害、吃音など）

F80-89 心理的発達障害

F80-83 特異的発達障害（発達の一部のみが遅れる障害で学習障害を含む）

F84 広汎性発達障害（自閉性障害、アスペルガー障害など）

F70-79 精神遅滞

F60-69 成人の人格および行動の傷害

F60-62 人格障害

F63 習慣及び衝動の障害（抜毛症など）

F64 性同一性障害

F65 性嗜好障害

F66 他の人格及び行動の障害（虚偽性障害など）

F50-59 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群

F50 摂食障害（神経性無食欲症、大食症など）

F51 非器質性睡眠障害（不眠症、過眠症、睡眠時遊行症、夜驚症、悪夢など）

F55 依存を生じない物質の乱用

F40-48 神経症性障害、ストレス関連障害、および身体表現性障害

F40 恐怖性不安障害（広場恐怖、社会恐怖など）

F41 他の不安障害（パニック障害など）

F42 強迫性障害

F43 重度のストレス反応および適応障害（急性ストレス反応、外傷後ストレス障害、適応障害など）

F44 解離性（転換性）障害（解離性障害、転換性障害、多重人格障害など）

F45 身体表現性障害（身体化障害、心気障害など）

F30-39 気分（感情）障害

F30 躁病エピソード

F31 双極性感情障害（躁鬱病）

F32 うつ病エピソード

F33 反復性うつ病性障害

F34 持続性気分（感情）障害

F20 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害

F10 精神作用物質使用による精神及び行動の傷害

F00 症状性を含む器質性精神障害（病気に伴う精神障害）